

日光修学旅行(6年)

6月24(日)～25日(月)

自然や仲間とふれあう

朝方までの大雨が心配でしたが、日光に近づくとつれ青空が広がりました。バスレクで盛り上がる子どもたちを乗せたバスは、小杉放菴美術館に到着しました。学芸員さんの説明を聞きながら、日本画の画材を手にとってみる事ができました。

再びバスに乗り、いろは坂をくねくね登ってたどり着いた芝生の広場でお弁当を食べた後は、男体山がくっきり見える戦場ヶ原を、ハイキングしました。カッコウの鳴き声、風が木々を渡る音を聞きながら自然を満喫しました。ゴールの湯滝に着いた時は、さすがに疲れた様子でした。

豪華な夕食を優雅に食べた後は、伝統工芸のふくべ細工にチャレンジ。様々な形のふくべ(かんぴょうの実)に思い思いの顔を描きました。そして、待ちに待った部屋での活動です。夜は長い! なかなか寝ない元気な子どもたち。1時頃にやっと、声が聞こえなくなりました。



小杉放菴美術館の1コマ



戦場ヶ原ハイキングのゴールは「湯滝」。すごい水しぶき!



ふくべ細工に熱中しました



個性豊かな作品がズラリ!!!

2日目の朝は思ったよりも寒く、上着を着て近くの源泉にお散歩です。硫黄のにおいが立ち込める中、足元のお湯だまりに手をつけては、「いい湯加減」と、ご満悦でした。

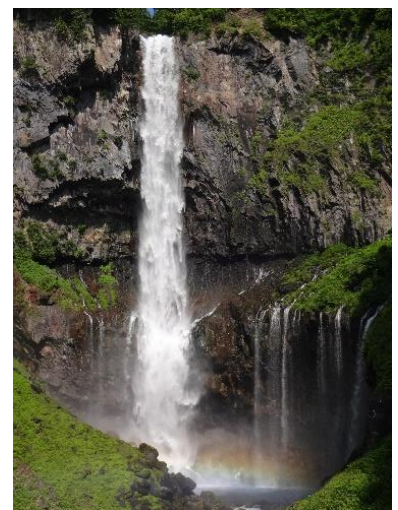


源泉散歩「温かくっていい湯加減」

お昼のカレーで元気を取り戻し、家族や自分へのお土産を選んで帰路につきました。

修学旅行のスローガンは、「ニコニコ日光、ニコニコ」。みんなで協力し、自然や歴史に触れ、学習を深め、友情を深めることを目指しました。2日間、共に行動する中で、今まで見えなかったお互いの良さを知ることができました。時間や自分たちで決めたルールを守って活動しました。修学旅行の経験を、今後の学校生活に活かしていきたいです。また、子どもたちの可能性を引き出していきたいです。心に残る2日間となりました。

宿を出て最初に向かったのは、華嚴の滝です。天気の良い朝だったので、滝壺には虹が! なんと運のいい6年生でしょう。素晴らしい眺めに歓声が上がりました。いろは坂を下って東照宮へ向かいます。実物を見るのをとても楽しみにしていました。「三猿は?」「あっ! 小っちゃい!」「どこ?」「写真と同じだ。」陽明門、眠り猫、家康の墓など、見るものがいっぱいで大忙しです。広大な境内は階段や砂利道が多く、たくさん歩いてくたくたになりました。



雨上がりの「華嚴の滝」に虹が!